【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年2月8日(2024.2.8)

【公開番号】特開2023-24422(P2023-24422A)
【公開日】令和5年2月16日(2023.2.16)
【年通号数】公開公報(特許)2023-031
【出願番号】特願2022-166426(P2022-166426)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ 57/12(2006.01)
Ａ０１Ｐ 3/00(2006.01)
Ａ０１Ｐ 1/00(2006.01)
Ａ０１Ｎ 25/10(2006.01)
Ｃ０９Ｄ201/00(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 5/14(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 7/63(2018.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ 57/12 B
Ａ０１Ｐ 3/00
Ａ０１Ｐ 1/00
Ａ０１Ｎ 57/12 E
Ａ０１Ｎ 25/10
Ｃ０９Ｄ201/00
Ｃ０９Ｄ 5/14
Ｃ０９Ｄ 7/63

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月31日(2024.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２２０】
１．５　処理液の調製
上記の化合物Ａ～Ｍの溶液の各々を下記表２に示される濃度にまで水で希釈して、実施例１～９、参考例１０、実施例１１～１８、比較例１～５に係る処理液を得た。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２２１】
１．６　処理条件
実施例１～９、参考例１０、実施例１１～１３、比較例１～３：ポリエステルニット（目付１２０ｇ／ｍ^2、株式会社色染社製）を上記の各処理液に浸漬させ、絞り率１１０％にて処理し、次いで、１３０℃で２分間熱処理することで、抗ウイルス性を有する繊維製品を得た。
実施例１４、１５：綿１００％ニット（目付１６５ｇ／ｍ^2）を上記の各処理液に浸漬させ、絞り率９０％にて処理し、次いで、１３０℃で２分間熱処理することで、抗ウイル

ス性を有する繊維製品を得た。
　実施例１６：ウール１００％織物（目付１００ｇ／ｍ^2）を上記の処理液に浸漬させ、絞り率８０％にて処理し、次いで、１２０℃で１分間熱処理することで、抗ウイルス性を有する繊維製品を得た。
　実施例１７、比較例４：ポリプロピレン１００％不織布（目付２２ｇ／ｍ^2）を上記の各処理液に浸漬させ、絞り率１００％にて処理し、次いで、１００℃で１分間熱処理することで、抗ウイルス性を有する繊維製品を得た。
　実施例１８、比較例５：ナイロン１００％タイルカーペットを上記の各処理液に浸漬させ、絞り率１２０％にて処理し、次いで、１５０℃で４分間熱処理することで、抗ウイルス性を有する繊維製品を得た。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２２５】

【表２】

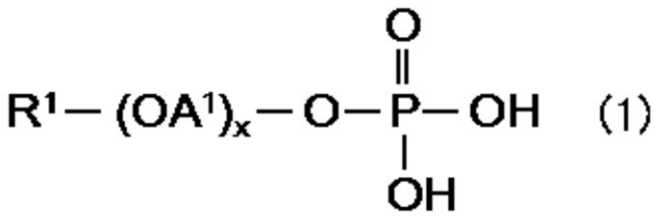
(表2)

	実施例									参考例	実施例									比較例				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	1	2	3	4	5
化合物Aの溶液 g/L	10										3			3.5		6.5							
化合物Bの溶液 g/L		10										3					30	25					
化合物Cの溶液 g/L			10																				
化合物Dの溶液 g/L				10											3.5								
化合物Eの溶液 g/L					10								3										
化合物Fの溶液 g/L						10																	
化合物Gの溶液 g/L							10																
化合物Hの溶液 g/L								10															
化合物Iの溶液 g/L									10														
化合物Jの溶液 g/L										10													
化合物Kの溶液 g/L																			10				
化合物Lの溶液 g/L																				10		30	25
化合物M g/L																					1.5		
抗ウイルス活性値	>3.4	>3.4	>3.4	>3.4	>3.4	>3.4	>3.4	2.8	>3.4	1.6	>3.3	2.3	3.0	3.1	2.3	>3.3	>3.3	>3.5	0.3	0.8	0.2	0.3	0.1
抗菌活性値	4.8	4.5	–	4.0	4.7	–	4.2	3.7	4.1	2.1	–	–	–	–	–	–	–	–	0.4	0.1	0.1	–	–

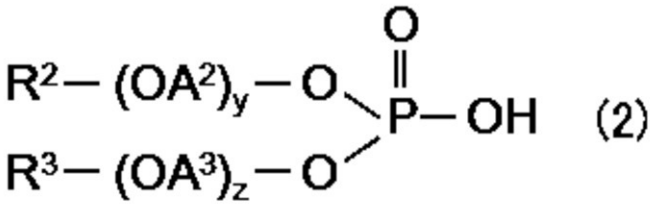
【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（１）で表されるリン酸モノエステル又はその塩と、
下記一般式（２）で表されるリン酸ジエステル又はその塩と、

の少なくとも一方を含む、抗菌・抗ウイルス剤組成物。

【化１】



【化２】



式（１）及び（２）において、

R^1、R^2及びR^3は、各々独立して、炭素数９～１８の分岐を有するアルキル基であり、

A^1、A^2及びA^3は、各々独立して、炭素数２～４のアルキレン基であり、

ｘ、ｙ及びｚは、各々独立して、０～２の整数である。

【請求項２】

基材と、

請求項１に記載の抗菌・抗ウイルス剤組成物と、

を備える、抗菌・抗ウイルス性構造体。

【請求項３】

請求項１に記載の抗菌・抗ウイルス剤組成物を基材に接触させること、

を含む、抗菌・抗ウイルス性構造体の製造方法。